

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報（2024年9月）

【内政】

- 18日、2025年予算案が閣議決定され、国民議会へ提出された。（19日、Le Matin Libre 紙及びL' Economiste 紙）
- 25日、経済犯罪・テロリズム裁判所（CRIET）はコミュニケを通じ、24日に発生したクーデター計画をボコ氏ら3名が共謀した旨声明を発表。（26日、Le Matin Libre 紙及びL' Economiste 紙）

【外政】

- 4日から6日に北京で開催された中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）の margins において、アジャディ・バカリ外務大臣は、ニジェール「外相」と二国間関係改善の目的の下、会談を実施。（9日、L' Economiste 紙）
- 25日、上蘭大使はソッサ憲法裁判所長官と会談し、二国間関係の強化につき意見交換を実施。（26日、La Nation 紙及びLe Matinal 紙）

【治安】

- 19日、アリボリ県（ALIBORI）マランビル地区において、身元不明の武装集団とベナン治安部隊との間で銃撃戦が発生し、治安部隊側は2名が死亡し、1名が負傷した。（20日、Le Matin Libre 紙）

【経済】

- 8月30日、信用格付け会社ムーディーズは、ベナン経済の格付け見通しについて、今後数か月で格下げする可能性を付言しつつ「安定的」とした上で、格付けを「B1」と発表。（3日、Le Matinal 紙）

【文化・その他】

- 6日、在ベナン日本国大使館は、ベナン関係省庁関係者出席の下、今秋渡日予定の国費外国人留学生1名及び ABE イニシアティブ長期研修員3名の渡日前壮行会を開催。（9日、Le Matinal 紙及びL' Economiste 紙）

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L' Evénement Précis 紙、L' Economiste 紙及び Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 2日、ベナン宗派間協議団体（CCCR）は、首都ポルト・ノボにおいて記者会見を開き、ベナンの政治・経済状況につき見解を述べた上で、2026年に自由、透明かつ包括的な選

挙を実施するために、与野党双方の合意に基づく選挙法の見直しを実施するよう提言を
発表。（3日、La Nation 紙、及び4日 Le Matin Libre 紙）

- ・ 18日、前年比11%増の2025年予算案(約8,877億円)が閣議決定され、審議及び
採決のために国民議会へ提出された。（19日、Le Matin Libre 紙及びL' Economiste
紙）
- ・ 25日、経済犯罪・テロリズム裁判所(CRIET)はコミュニケを通じ、オリビエ・ボコ氏、ホメ
キ前スポーツ大臣及びテヴォエジュレ共和国警護隊司令官が、24日に発生したクーデ
ター計画を共謀した容疑者である旨声明発表を行った。（26日、Le Matin Libre 紙及
びL' Economiste 紙）
- ・ 26日、与党共和党(BR)は、クーデター未遂事案を非難しつつ、タロン大統領に対する
揺るぎない支持を改めて声明発表した。（27日、Le Matinal 紙）

【外政】

- ・ 8月31日、シュウア仏大使は、アジャディ・バカリ外務大臣に対して信任状の写
しを捧呈した。捧呈後の記者会見において、安全保障、文化交流及び経済協力の面
における二国間関係の更なる強化に尽力する旨発言した。（2日、La Nation 紙及
びLe Matinal 紙）
- ・ 4日から6日に北京で開催された中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）のマー
ジンにおいて、アジャディ・バカリ外務大臣は、サンガレ・ニジェール「外相」と
二国間関係改善の目的の下、会談を実施した。（9日、L' Economiste 紙）
- ・ 10日、ムンドEU大使はアジャディ・バカリ外務大臣に信任状の写しを捧呈した。
捧呈式後の会談において、安全保障、技術研修、教育及び開発協力に関する意見交
換が行われた。（12日、Le Matinal 紙）
- ・ 18日、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）代表団はコトヌを訪問し、2026
年の一連の選挙につき、野党関係者と協議を行った。（23日、Le Matin Libre 紙）
- ・ 25日、上蘭大使はソッサ憲法裁判所長官と会談をし、二国間関係の強化につき意
見交換を実施した。（26日、La Nation 紙及びLe Matinal 紙）

【治安】

- ・ 9日、アトランティック県（ATLANTIQUE）セグエボ地区において、共和国警察によ
り、200キロ以上の偽造医薬品が押収された。（11日、Le Matinal 紙及びLe
Matin Libre 紙）
- ・ 19日、アリボリ県（ALIBORI）マランビル地区において、身元不明の武装集団とベ
ナン治安部隊との間で銃撃戦が発生し、治安部隊側は2名が死亡、1名が負傷した。
（20日、Le Matin Libre 紙）
- ・ 3日、アタコラ県（ATAKORA）カンデ地区において、アタコラ・ドンガ県商業産業局
（CCDI）は、5月17日に施行されたアルコール入り酒袋の販売禁止法施行に伴う

摘発作戦を実施し、50ml 容量のプラスチック製酒袋1,400点以上を押収した。（25日、Le Matinal 紙）

【経済】

- ・ 8月30日、信用格付け会社ムーディーズは、ベナンの経済格付け見通しを、今後数ヶ月で格下げする可能性を付言しつつ「安定的」とした上で、格付けを「B1」と発表した。（3日、Le Matinal 紙）
- ・ 3日、中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）のマージンにおいて、ベナン及び中国は、近代産業化の促進の加速化を目的とする、二国間標準規格に係る協定に署名した。（3日、La Nation、4日、Le Matinal 紙及び Le Matin Libre 紙）
- ・ 5日、ソグロ元大統領は、2021年に建設が開始されたグロジベ工業団地（GDIZ）を初訪問し、関係者らと工場内を見学した。（5日、Le Matinal 紙、L' Economiste 紙及び Le Matin Libre 紙）
- ・ 国立統計・人口学研究所（INStad）は報告書を通じ、第3次産業セクターの成長の後押しを受け、2024年第1四半期の経済成長率が6.3%を記録し、前年同期の6.2%を超えた旨公表した。（6日、L' Economiste 紙）
- ・ 10日、在ベナン中国大使館において、ペン大使は当地メディア関係者に対し、中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）の成果に係る説明を行った上で、意見交換を実施した。（11日、Le Matinal 紙及び La Nation 紙）
- ・ 国際通貨基金（IMF）は、先般実施された IMF 代表団による実地調査に基づく報告書を公表し、2024年第2四半期が6.6%の成長率を記録し、前年同期比を超えた点を評価した。（17日、La Nation 紙、18日、Le Matinal 紙及び L' Economiste 紙）

【文化・その他】

- ・ 当地ジャーナリスト12名は、8月14日から29日の2週間中国に滞在し、同国メディア発展の背景及び協力関係等に関する研修を受講した。（2日、L' Economiste 紙）
- ・ 6日、在ベナン日本国大使館は、ベナン関係省庁関係者出席の下、今秋渡日予定の国費外国人留学生1名及び ABE イニシアティブ長期研修員3名の渡日前壮行会を開催した。（9日、Le Matinal 紙及び L' Economiste 紙）
- ・ 9日、「一帯一路」の枠組において、西アフリカ石油パイプライン会社が支援する留学プログラムに参加する12名の留学生が出発式典に出席した。（10日、La Nation 紙及び Le Matin Libre 紙）
- ・ 20日、上蘭大使、カポ・アラダ市長及びアパキ・アトランティック県中等教育局長等の関係者の出席の下、令和5年度対ベナン共和国草の根・人間の安全保障無償

資金協力「アラダ市アバヌ中学校校舎建設計画」の引渡式が実施された。(25日、L' Economiste 紙、及び27日、Le Matinal 紙)